

7月2日 逍遙



今日7月2日は、薩英戦争勃発の日。前月27日に鹿児島湾に到着した英国艦隊の元々の来日目的は、攘夷主義者による英国水兵殺害（第二次東禅寺事件）を受け、前年に横浜へ入港したもので、<sup>たまたま</sup>偶々その同じ日に生麦事件が発生したのです。<sup>すいか</sup>西瓜売り変装の決死隊も失敗し、現在の始良市脇元付近に停泊中の薩摩藩蒸気船3隻が英国側に<sup>だほ</sup>拿捕、船長の五代才助（友厚）も捕虜となった（この後、彼は藩の探索を受ける身となりました）のを機に、薩摩藩側が天保山砲台等から「まさか」の砲撃を開始。（とはいえ薩摩砲弾の飛距離は1キロ、英国側アームストロング砲弾は4キロ）ちなみに、この日は嵐で、船は結構揺れたはず。しかも薩摩藩の訓練海域に艦隊の一部が流されたこともあり、英国側は13名が死亡、50名余が負傷。一方、薩摩藩側も19名の死傷者と砲台壊滅、城下の一部も焼失（御楼門にも着弾）しました。

この戦争でお互いの力を認識し合った両者は、その後接近し、幕末・明治維新时期における政局の展開に重大な影響を及ぼすこととなったのでした。

次回「新時代の到来と思考の大転換、のこころ」

「まさかの想定外が  
もたらしたものの、  
「ひらり」